

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	三田社会学会
Publication year	2015
Jtitle	三田社会学 (Mita journal of sociology). No.20 (2015. 7)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-20150704--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三 田 社 会 学

第 20 号

2015 年

『三田社会学』創刊 20 年に寄せて

有末 賢 1

特集：在日外国人・マイノリティの現在——移住と定住をめぐる

特集「在日外国人・マイノリティの現在——移住と定住をめぐる」

柏崎千佳子 3

外国につながる生徒による日本の高校での学びの意味づけと「成功」の変容

——中国人およびフィリピン人生徒を中心に——

坪谷美欧子 6

朝鮮籍在日朝鮮人の「共和国」をめぐる語り

——ナショナル・アイデンティティ論の視角から——

李 洪章 22

在日パキスタン人移民のエスニック・ビジネスと越境する親族

福田 友子 38

外国籍（移住）女性をめぐる問題——日本で定住することの困難

鄭 暎恵 52

コメントに代えて

——「移動」へのエンパワーメントとしての「定住」支援に向けて

塩原 良和 65

論 文

フーコーのマグリット論——可視的なものと言表可能なもの——

大貫 恵佳 69

ポスト高度経済成長期の都市空間とサブカルチャー

——中野ブロードウェイの「サブカルチャー化」を事例として——

塚田 修一 83

「物質化」再考——バトラーによるブルデュー批判の先へ——

長野 慎一 97

H.ルフェーブルの「日常性」について

福田 光弘 111

食の実践と卓越化——ブルデュー社会学の視座とその展開——

村井 重樹 124

書 評

書評：大石裕著『メディアの中の政治』

山口 仁 138

書評：大澤真幸・塩原良和・橋本努・和田伸一郎編著

『ナショナリズムとグローバリズム』

稲津 秀樹 144

書評：岡原正幸編著『感情を生きる』

熊谷晋一郎 149

書評：鈴木智之著『「心の闇」と動機の語彙』

牧野 智和 153

著者リプライ

鈴木 智之 156

書評：昔農英明著『「移民国家ドイツ」の難民庇護政策』

久保山 亮 159

著者リプライ

昔農 英明 163

書評：竹ノ下弘久著『仕事と不平等の社会学』

長松奈美江 165

著者リプライ

竹ノ下弘久 168

書評：西村純子著『子育てと仕事の社会学』

石井クツ昌子 170

著者リプライ

西村 純子 173

書評：千川剛史著『デジタル・ネットワーキングの展開』

吉原 直樹 176

著者リプライ

千川 剛史 180

書評：吉原直樹著『「原発さまの町」からの脱却』

伊藤 守 182

著者リプライ

吉原 直樹 185

書評：吉原直樹・近森高明編『都市のリアル』	澤 宗徳	188
書評：渡辺秀樹著『モデル構成から家族社会学へ』	三隅 一人	194
著者リプライ	渡辺 秀樹	197
書評：渡辺秀樹・竹ノ下弘久編著『越境する家族社会学』	木戸 功	199

大会報告要旨

批判的思考への動機づけ—好奇心の観点から—	齋藤 央典	203
中国における二つの輿論の乖離と統合 —ロンドン五輪をめぐる中国メディアの言説を事例として—	宋 愛	206

三田社会学会編
